三農同窓会報

発　行　所
十和田市大字相坂字高清水78-92
0176 (23) 5341
青森県立三本木農業高等学校
青森県立三本木農業恵拓高等学校
同窓会事務局

新しい未来へ

三農同窓会長　蛯沢　正勝

三農同窓会会員の皆様には、日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の6月26日に開催された令和3年度三農同窓会総会において、沼山喜久男前会長がご退任され、その後任として会員の皆様のご推挙により浅学非才ではございますが第11代同窓会会長をお引き受けいたしました。

沼山前会長には11年という長期間にわたり会長を務められ、開校120周年記念式典を挙行されるなど、そのご尽力とご功績には心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、一昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響で日本だけでなく、世界中が未曾有の危機に見舞われ、いまなお、私たちの生活に重くのしかかり、経済にも暗い影を落としています。感染された方やお仕事を休業・縮小せざるを得なかった方々には心よりお見舞い申し上げます。

学校においては各行事やクラブ活動などが制約され、同窓会でも総会のあと行われていた懇親会・同期会が中止となりました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症も終息し、生徒たちの学校生活も以前のように戻り、同窓会総会や懇親会・同期会、各支部の総会も盛大に開催され、各支部総会に出席させていただき会員の皆様と交流できることを願うものであります。

また、今年度入学生から三本木農業恵拓高等学校が開校し、昭和26年以来となる普通課程が設置されました。第一回普通科卒業生は東北大学や北海道大学に進学した者も多かったため、三農の普通科はレベルが高いと評判であったと聞いております。80年以上に渡り歌い継がれてきた1位置、2日課、3使命、4理想の校歌はそのままであり、歴史と伝統のある三農で「新しい伝統」を築いていただきたいと期待しております。

最後になりますが、我が母校三農の発展と同窓会発展のために、微力ではございますが精一杯努力してまいります。会員皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様の今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。

「不易と流行」

青森県立三本木農業恵拓高等学校初代校長
青森県立三本木農業高等学校第33代校長
遠藤　剛

令和3年4月8日青森県立三本木農業恵拓高等学校が開校しました。和嶋延寿教育長の開校宣言、校長誓いの言葉、三村申吾青森県知事および小山田久十和田市長からの御祝辞があり、式典は厳かにそして生徒にとっては希望に漲る新たな学校としてスタートしました。明治31年創立の青森県農学校のDNAを受け継ぎながらも、新たな遺伝子を持つ学校として皆さんに期待される学校にして行きたいと思っております。

同窓各位からは、「三農」の名を消して欲しくない、「校章」は何とかならないのか、「校歌」はどうなるのかなど多くの声がありました。学校名の略称は三本木農業高校も三本木農業恵拓高校も「三農」と呼ぶ事になります。それは十和田市内はもとより、青森県内そして全国での運動部や農業クラブ活動において「三農」と言えば、実績・知名度共にネーミング自体が全国区だからです。校章は、稲穂にクローバーを模した慣れ親しんだものに、三校統合の意味を被せ、いわゆる新たな解釈をしてそのまま用いることとしました。校歌は、統合される3つの高校の校歌を用いるとともに、新たに「スクールソング（作詞・作曲：桜田マコト）」をつくりました。学校行事では、♪太平洋を茜に染めて…の校歌と、♪そよ風薫る恵みの大地に…のスクールソングを斉唱しております。なお十和田西高校と六戸高校の校歌はアレンジして学校のチャイムに用いることを検討しております。

一方同窓会においては、昨年来何度も会議をして、名称を「三本木農業高等学校・三本木農業恵拓高等学校同窓会」とし、あわせて会則の見直しをしたところです。それは「卒業生相互の友情を厚くして、母校との連絡を保ち、併せて母校並びに地域社会の発展に寄与する」という同窓会の目的を達成するためです。組織を2つにしてバラバラに活動するのではなく、今もそして未来も一緒に活動して行こうという想いのあらわれです。

平成8年の中央教育審議会「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について（第一次答申）」の中に、次のような一文があります。「我々は、これからの社会の変化は、これまで我々が経験したことのない速さで、かつ大きなものとなるとの認識に立って、豊かな人間性など「時代を超えて変わらない価値のあるもの」（不易）を大切にしつつ、「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」（流行）に的確かつ迅速に対応していくという理念の下に教育を進めていくことが重要であると考える。」

三農にとって不易とは、この地域の農業と産業を支える人材を育成すること、流行とは時代時代にあわせて強くそしてしなやかに対応していくことだと思っております。新たな学校のスタートに際し、これまでの三農同窓会が柔軟に対応していただいたことが組織の一本化に繋がり在校生を支援する源になっております。同窓各位の寛大な対応に感謝すると共に、三農にとっての「不易と流行」を忘れないようにしたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

青森・台湾間の高校生共働学習促進プログラムに参加

青森県のグローバル社会を主体的に生き抜く人財育成事業「青森・台湾間の高校生協働学習促進プログラム」に本校が応募し採用された。農業経済科商品開発研究室2年生10名と1年生7名（普通科3名、動物科学科2名、食品科学科1名、植物科学科1名）が、三農式食文化ミーティングをメインテーマに、青森の文化紹介と地域の伝統食材や調理方法を台湾の高校生に伝え、協働的学びを通した交流を図っている。

本県と台湾の友好関係発展に寄与するのはもちろん、「世界へ打って出る」気概を持ち、地域・日本の未来を託せる人財、新しい時代を主体的に切り拓く人財の育成をめざしている。

第7回現代ビジネスプラン・コンペ最優秀賞W受賞

兵庫大学が主催する現代ビジネスプラン・コンペに、動物科学科の3年生と1年生が応募し、いずれも最優秀賞を受賞した。

3年生は「種から始まる食べる脂と油の関係」をテーマに、肉牛に高オレイン酸のひまわりの種子を飼料としたときに、肉質に与える影響についての研究、1年生は「地域特産物残渣を活用した高機能鶏卵の生産」をテーマに、廃棄されている変形ニンジンをニワトリに飼料として与えたときに、鶏卵に及ぼす影響についての研究である。

ビジネスプランとしての着眼点と、地域活性化・食品廃棄物問題解決につながることが評価された。今後のさらなる研究が期待される。

令和３年度　収支予算

１　一般会計　　自 令和 3年 4月 1日　至 令和 4年 3月31日

収　支　　単位：円

収入額	支出額	残　額
3,143,000	3,143,000	0

収入の部　　単位：円

項　目	2年度予算額	3年度予算額	増減(△)	備　考
繰越金	640,381	783,535	143,154	
会費	1,703,000	1,799,000	96,000	1,2学年@3,000円×373人 3学年@4,000円×170人
負担金	320,000	320,000	0	支部からの本部運営協力金
協賛広告料	240,000	240,000	0	同窓会報協賛広告料
雑収入	1,619	465	△ 1,154	預金利息
合計	2,905,000	3,143,000	238,000	

支出の部　　単位：円

項　目	2年度予算額	3年度予算額	増減(△)	備　考
1 事務費	135,000	135,000	0	
事務用品	20,000	20,000	0	請求用紙、卒業ｱﾙﾊﾞﾑ他
通信費	50,000	50,000	0	各支部案内発送切手代他
印刷費	5,000	5,000	0	会長名刺印刷代
報償費	60,000	60,000	0	会計係員手当
2 会議費	100,000	300,000	200,000	総会会場費他
3 旅費	432,000	430,000	2,000	各支部総会旅費他
4 交際費	190,000	200,000	10,000	各支部総会お祝他
5 事業費	1,250,000	1,250,000	0	同窓会報印刷・発送代他
6 慶弔費	80,000	100,000	20,000	香典、生花他
7 記念品費	180,000	190,000	10,000	入会記念品1,000円×170人
8 周年事業積立金	500,000	500,000	0	
9 予備費	38,000	38,000	0	
合計	2,905,000	3,143,000	238,000	

※各項目の流用を認める。

２　特別会計

周年事業積立金　　単位：円

項　目	金　額	備　考
令和２年度までの累計	2,350,754	
令和３年度積立金	500,000	
雑収入	246	預金利息
合　計	2,851,000	

令和２年度　収支決算報告

１　一般会計　　自 令和 2年 4月 1日　至 令和 3年 3月31日

収　支　　単位：円

収入額	支出額	残　額
2,753,394	1,969,859	783,535

収入の部　　単位：円

項　目	2年度予算額	2年度決算額	増減(△)	備　考
繰越金	640,381	640,381	0	
会費	1,703,000	1,703,000	0	
負担金	320,000	140,000	△ 180,000	支部からの本部運営協力金
協賛広告料	240,000	270,000	30,000	同窓会報協賛金
雑収入	1,619	13	△ 1,606	預金利息他
合計	2,905,000	2,753,394	△ 151,606	

支出の部　　単位：円

項　目	2年度予算額	2年度決算額	残超(△)	備　考
1 事務費	135,000	98,718	36,282	
イ 事務用品	20,000	9,980	10,020	卒業アルバム代
ロ 通信費	50,000	28,738	21,262	各支部案内発送切手代他
ハ 印刷費	5,000	0	5,000	
ニ 報償費	60,000	60,000	0	会計手当
2 会議費	100,000	0	100,000	
3 旅費	432,000	69,800	362,200	本部役員会旅費他
4 交際費	190,000	0	190,000	
5 事業費	1,250,000	722,691	527,309	会報印刷、発送料、葉書代他
6 慶弔費	80,000	20,000	60,000	香典、生花代
7 記念品費	180,000	158,650	21,350	入会記念品
8 周年事業積立金	500,000	500,000	0	周年事業積立金へ
9 予備費	38,000	400,000	△ 362,000	錦富士三本木農高後援会へ協賛
合計	2,905,000	1,969,859	935,141	

※各項目の流用を認める。

２　特別会計（周年事業積立金）

収　支　　単位：円

収入額	支出額	残　額
2,350,754	0	2,350,754

収入の部　　単位：円

項　目	2年度予算額	2年度決算額	増減(△)	備　考
令和元年度までの累計	1,850,522	1,850,522	0	
令和2年度積立金	500,000	500,000	0	
雑収入	478	232	△ 246	
合計	2,351,000	2,350,754	△ 246	

介護と保育なら　生きがいグループ　へお任せください
代表　山端　政博
（昭和43年度 農業科卒）
社会福祉法人　生きがい十和田　http://ikigai-towada.net/
特定非営利活動法人　生きがい十和田　http://ikigai-towada.org/
定期巡回・随時対応型訪問介護看護　ヘルパーステーション　訪問看護ステーション
看護小規模多機能型居宅介護　居宅介護支援事業　通所介護事業　住宅型介護事業
タクシー事業　保育事業　訪問入浴　生活介護・就労継続支援Ｂ型　共同生活援助
生きがいグループ本部 十和田市東三番町1-6　TEL 0176-25-5678

JA十和田おいらせ　ファーマーズ・マーケット　かだあ～れ

〒034-0001 十和田市大字三本木字里ノ沢４１　TEL. 0176-51-4020　FAX. 0176-51-5390
営業時間：９：００～１８：００　定休日：毎月第２水曜日
十和田おいらせ農業協同組合
代表理事組合長　畠山　一男
（昭和48年度 畜産科卒）
ほか役職員一同
〒034-0081 青森県十和田市西十三番町4-28
TEL. 0176-23-0311　FAX. 0176-24-1829
http://www.jatowada-o.or.jp/

「世界かんがい施設遺産」登録
稲生川土地改良区
〒034-0011 青森県十和田市稲生町1番36号
TEL：0176-23-5066（総務課）
TEL：0176-23-3293（工事課）
FAX：0176-23-3940
E-mail：info@inaoigawa.or.jp
副理事長　山崎　誠一（S37年度 農業科卒）
用排水調整委員長　畠山　寿（S42年度 農業科卒）
総務委員長　種市　廣（S43年度 畜産科卒）
会計担当理事　山端　誠一郎（S44年度 農業科卒）
理事　杉山　秀明（S45年度 農業科卒）
理事　長根　栄一（S48年度 農業科卒）
職員　木村　繁夫（S56年度 農業土木科卒）
〃　山口　秀勝（H 3年度 農業土木科卒）
〃　荒岡　工（H10年度 農業土木科卒）
〃　小田　和正（H18年度 農業土木科卒）
〃　八嶋　諒（H23年度 農業土木科卒）

青森県立三本木農業高等学校同窓会
三農同窓会報への協賛をいたします
三農東京同窓会
会長　馬場　建一
（昭和43年度 畜産科卒）
事務局:〒107-0052　東京都港区赤坂8-12-22-203　松橋正一　方
TEL 03-3479-1023　FAX 03-3479-1056　mobile 090-6946-5372

青森県立三本木農業高等学校同窓会
三農同窓会報への協賛をいたします
池畑守税理士事務所
代表税理士　池畑　守
三農東京同窓会 顧問（昭和35年度 畜産科卒）
〒116-0003 東京都杉並区高円寺南4-5-5 河村ビル2F
TEL 03-5929-7961　FAX 03-5929-7962

三農同窓会報への協賛をいたします
十和田市農業委員会
会長　杉山秀明
（昭和45年度 農業科卒）
会長職務代理者　箕輪展忠
（昭和48年度 農業科卒）

心　こめた庭づくり　株式会社　みちのく庭園

〒039-1161 青森県八戸市大字河原木字簀子渡15番地3
TEL：0178 (28) 0130 (代)　FAX：0178 (20) 1217
E-mail：mitinoku-teien@an.wakwak.com
代表取締役社長　橋本　静一
（昭和39年度 農業科卒）

島守そば生産組合
代表　冷水　保
（昭和41年度 農業科卒）
〒031-0202　八戸市南郷大字島守字下荒谷18
TEL・FAX兼用　0178 (83) 2751

特定建設業《土木工事・建築工事・舗装工事》
杉村建設工業株式会社
代表取締役　杉村　陽太郎
（昭和34年度 農業土木科卒）
〒039-2243　青森県八戸市松ヶ丘19番地30
TEL (0178)28-8204　FAX (0178)28-8291
E-mail：sugimurakensetu@yacht.ocn.ne.jp

水と空間の快適環境づくりのパイオニア
中沢水道設備工業株式会社
代表取締役会長　中沢　豊美
（昭和39年度 農業科卒）
〒034-0001 青森県十和田市大字三本木字西金崎94-2
TEL. 0176 (22) 3695　FAX. 0176 (22) 3770

同窓会総会

令和3年6月26日（土）サン・ロイヤルとわだで令和3年度三農同窓会総会が開催された。

沼山喜久男同窓会長、遠藤剛校長からご挨拶をいただき、総会が始まった。

議事に入り、報告第1号令和2年度事業実績報告及び報告第2号令和2年度収支決算報告、斗沢清監事より監査報告が報告された。各報告について異議なしで承認された。

議案第1号令和3年度事業計画（案）について、議案第2号令和3年度収支予算（案）について報告された。

議案第3号役員改選について選考委員会にて選出された新役員が提示され、審議したところ、満場一致で承認された。

議案第4号会則の変更について事務局より今年度から三本木農業恵拓高等学校が開校したことで、三農と三農恵拓両方の生徒を支援したいという方向性を以前の会議で確認したので学校名を追加したいことが説明された。また、コロナウイルス感染症の影響で総会等の開催が困難となった場合に審議事項について書面等による表決としたいということが説明された。十和田西高校と六戸高校の同窓会との関連はなくなるのか。また、三農恵拓の生徒も三農の同窓会に所属するので同窓会費といったものも納入するのかと会員から質疑があり、学校がなくなっても同窓会の組織自体はなくならないのでそれぞれで活動することと会費を納入していただくと説明された。

以上で議事はすべて終了し、橋立議長は解任された。横野事務局長の閉会宣言の下総会は滞りなく終了した。

続いて、新役員の方から挨拶をいただいた後に令和3年度功労者表彰が行われた。今年度は7名の選出、受賞となった。受賞者には表彰状と校章刺繍が蛯沢同窓会長より手渡された。

○受賞者一覧

沼山喜久男（昭和33年農業科卒）平成22年6月より本部会長に就任

橋立　清澄（昭和35年畜産科卒）平成28年6月より本部副会長に就任

苫米地洋士（昭和36年農業科卒）平成24年6月より本部副会長に就任

山崎　誠一（昭和37年農業科卒）平成26年6月より本部副会長に就任

堀　光雄（昭和43年農業科卒）平成22年6月より本部副会長に就任

斗沢　清（昭和40年農業科卒）平成22年6月より本部監事に就任

澤口　幸一（昭和53年農業科卒）平成26年6月より本部監事に就任

同窓会支部総会報告

東北町支部総会

令和4年1月29日（土）郷土料理「蔵」

蛯沢正勝会長の挨拶で総会が始まり議案事項はすべて了承された。

その中で、新支部長として乙崎一男氏が選任された。

令和4年度 三農同窓会

総会・懇親会・同期会

日　時　令和4年6月25日(土)

会　場　サン・ロイヤルとわだ
青森県十和田市東三番町37-7
電話 0176-23-2266

会　費　5,000円

受　付　14:30～

総　会　15:00～15:50

懇親会　16:00～

同期会　平成 2 年度卒　昭和55年度卒
昭和45年度卒

三農同窓生多数の参加をお待ちしております。

問い合わせ
青森県立三本木農業高等学校
青森県立三本木農業恵拓高等学校
電話 0175-23-5341
三農同窓会事務局まで

特集 インターハイ

全国高校総体相撲競技が8月6日（金）から8日（日）まで新潟県糸魚川市で行われた。

本校からは団体と個人戦で藤田一翔選手（P3）が出場した。団体は決勝トーナメント1回戦で足立新田高校（東京都）に敗れ惜敗してしまったが、個人戦で藤田選手が活躍し3位入賞を果たした。個人メダルを獲得したのは三農相撲部では1996年以来25年ぶりの快挙となった。

今後の三農相撲部の活躍を期待する。

第72回青森県学校農業クラブ連盟大会 農業クラブ連盟大会

9部門中4部門で最優秀獲得

平板測量8連覇　フラワー3連覇

プロジェクト発表会　分野：Ⅲ類
平板測量競技会
フラワーアレンジメント競技会
クラブ活動紹介発表会

6月24日（木）【発表部門】、8月5日（木）【技術競技部門】の2日間、第72回青森県学校農業クラブ連盟大会がアピオ青森と青森県立五所川原農林高等学校を会場に行われた。本校は9部門中、4部門で最優秀賞を獲得した。平板測量競技は今回で8連覇、フラワーアレンジメント競技は3連覇を達成し、他校を寄せ付けない結果を残した。

発表部門においても、プロジェクト発表会分野：Ⅲ類、クラブ活動紹介発表会で最優秀賞を獲得し、日頃の学習成果が身についていることが証明された。尚、結果は以下の通り。

○最優秀賞

◇プロジェクト発表会　Ⅲ類

柏田拓未　川村倫也
根岸　汀　福田歩夢
山口皓雅　大坂優菜
宮本宇海　簗場涼香
吉田陽菜（以上B3）

◇クラブ活動紹介発表会

工藤りん（P3）三浦愛栞（P3）
小泉茉耶（B3）鶴居陽向（B3）
清川碧衣（P2）坂部白虎（L2）
笹森嵩平（M2）丸谷昂太（M2）
今泉優希乃（M2）

◇平板測量競技会

水尻翔（E3）豊田小乃美（E3）
中川楓翔（E3）立花春華（E2）

◇フラワーアレンジメント競技会

竹山蓮香（P3）

□優秀賞

◇プロジェクト発表会　Ⅰ類

石久保郁弥　白山冬哉
髙橋王琴　立崎竜童
平舘賢幸　福士陸太
舛舘美楽（以上M3）

◇プロジェクト発表会　Ⅱ類

荒町勇伎　大野　伯
小向颯真　藤原龍二
安田　輝　野口歩和里
米倉弓衣莉（以上P3）

◇意見発表会　Ⅰ類

長谷地慶護（B3）

◇意見発表会　Ⅱ類

竹山蓮香（P3）

◇意見発表会　Ⅲ類

巴　香乃（L3）

第72回日本学校農業クラブ東北連盟大会　宮城大会
クラブ活動紹介発表会
最優秀賞

8月26日（木）～27日（金）の2日間に渡って第72回日本学校農業クラブ東北連盟大会宮城大会が行われた。本校は東北大会出場の3部門中、クラブ活動紹介発表会が最優秀賞を受賞。また、プロジェクト発表会区分Ⅲ類で優秀賞を獲得した。尚、結果は以下の通り。

○最優秀賞

◇クラブ活動紹介発表会

工藤りん（P3）藤原龍二（P3）
三浦愛栞（P3）工藤瑞歌（L3）
小泉茉耶（B3）鶴居陽向（B3）
清川碧衣（P2）坂部白虎（L2）
笹森嵩平（M2）丸谷昂太（M2）

□優秀賞

大坂優菜　簗場涼香
吉田陽菜（以上B3）

第72回日本学校農業クラブ全国大会　兵庫大会
農業鑑定　区分：畜産
優秀賞

10月27日（水）～28日（木）の2日間に渡って第72回日本学校農業クラブ全国大会兵庫大会が行われた。本校は、平板測量競技、農業鑑定競技に出場した。また、事例発表校として、クラブ員代表者会議に参加した。農業鑑定競技区分：畜産において優秀賞を受賞し、来年度でのリベンジを決意した。結果は以下の通り。

□優秀賞

◇農業鑑定競技会

区分：畜産
坂部白虎（L2）

プロジェクトオブザイヤー2021

MVP

動物科学科3年　産業動物研究室

2学期最後を締めくくる農業クラブ行事、プロジェクトオブザイヤー2021。12月17日（金）に本校第一体育館を会場に行われ、MVPには、産業動物研究室が選ばれた。肉牛の脂肪交雑とオレイン酸割合の両立をめざし、独自の飼料生産と給与方法を確立という内容で発表が行われ、科学的根拠による信憑性の高さや、データの量、研究方法などが高く評価されたことで受賞に繋がった。

カテゴリーSでは、普通科の代表チームが発表し、普通科と専門学科の絆を深めた。

○MVP

動物科学科3年　産業動物研究室

□VP

農業経済科3年
農産物流通研究室
農業機械科3年
資源工学研究室
植物科学科3年
野菜研究室A
動物科学科2年
産業動物研究室
植物科学科1年

◆出場研究室

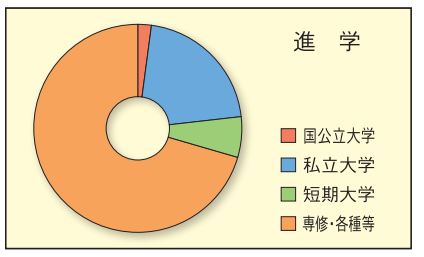
カテゴリーⅠ　18研究室
カテゴリーⅡ　6研究室
カテゴリーⅢ　4学科
カテゴリーS　普通科
農ク執行部

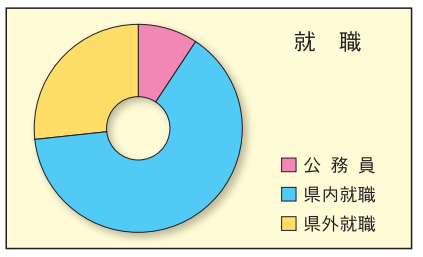
進路状況

今年度の進路割合としては進学希望者が55.9％、就職希望者が44.1％という割合であった。

卒業生には、社会人として、また今後の地域発展を担う人材として大いに活躍していただきたい。

進学		就職	
国公立大学	2人	公務員	7人
私立大学	20人	県内就職	48人
短期大学	6人	県外就職	20人
専修・各種等	67人		
合計	95人	合計	75人
割合	55.9％	割合	44.1％





三農OB・OGの活躍

秋の叙勲

単宝双光章　消防功労
大沢　博氏（昭和41年度農業科卒）

旭日単光章　農業振興功労
竹ヶ原　幸光氏（昭和41年農業科卒）

旭日単光章　畜産業振興功労
金子　春雄氏（昭和44年度畜産科卒）

青森県褒賞　勤労
橋本　静一氏（昭和39年度農業科卒）

田中稔賞　稲作農業振興
千葉　準一氏（昭和48年度畜産科卒）

造林・造材・造園土木一般請負業
葛西産業株式会社
代表取締役　葛西　徹也（昭和59年度 農業科卒）
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字穴沢24
TEL 0175-72-2955　FAX 0175-72-3515
E-mail：kasataku@r20.7-dj.com

おいらせSEED
代表取締役　吉田　譲
（昭和42年度 畜産科卒）
吉田種苗株式会社
〈店舗〉青森県上北郡おいらせ町一川目3丁目340
TEL（0178）52-6509　FAX（0178）52-6525

三八五引越センター
暮らしを運び
豊かさを届ける
MIYAGO
0120-01-0385
青森三八五流通
代表取締役社長　宮古　武
青森本店 青森地区　TEL 017-787-3342
〒038-0042 青森県青森市新城字平岡160-576
青森本店 八戸地区　TEL 0178-27-4210
〒039-1189 青森県八戸市大字長苗代字上中坪35-1

≪信頼と確かな技術の総合建設業≫
ISO品質・環境認証企業
株式会社 三村興業社
代表取締役　小笠原　國　男　昭和36年度卒 商業科
本　社　上北郡おいらせ町下明堂30の10　Tel 0178-52-5751
一級建築設計事務所
八戸営業所　八戸市大字市川町字稲荷岱43の2　Tel 0178-52-5131

農業生産法人 有限会社 **ナチュラルファーム**
お届けします、安心野菜。
代表取締役　山本政義
（昭和50年度 園芸科卒）
〒039-2189 青森県上北郡おいらせ町青葉3丁目50-1641
TEL 0176-50-1850　FAX 0176-50-1855
Eメール natural-f@k4.dion.ne.jp

半世紀を超えて培った「技術力」で社会に貢献し、次代へつなぐ。
－地域とともに躍進する－
東北建設株式会社
代表取締役　蛯沢　公洋
蛯名　昇（昭和５５年　農業土木科　卒業）
鎌本大樹（平成１２年　農業機械科　卒業）
種市　翼（平成２４年　農業土木科　卒業）
池　凜玖（平成３０年　農業・環境土木科　卒業）
〒039-2654　青森県上北郡東北町字塔ノ沢山１番地
TEL 0175-63-2034　FAX 0175-63-3459

上北建設株式会社
Kamikita Kensetsu Co.,Ltd.
〒034-0037　青森県十和田市穂並町2-62
TEL(0176)-23-3511　FAX(0176)-23-3510
私たちは、三農同窓会報への協賛をいたします
青森県立三本木農業高等学校同窓生一同
漆戸　政則（Ｓ50卒）　馬場　正彦（Ｓ61卒）
畠山　正敏（Ｓ50卒）　古川　茂幸（Ｓ61卒）
山端　透（Ｓ52卒）　茂木美智男（Ｓ62卒）
澤谷　則雄（Ｓ52卒）　沖沢　晃（Ｓ63卒）
種市　政志（Ｓ52卒）　佐々木俊幸（Ｓ63卒）
見世　勇人（Ｓ53卒）　佐藤　雄大（Ｈ01卒）
佐々木悟志（Ｓ54卒）　西山　則人（Ｈ02卒）
小倉　清孝（Ｓ55卒）　升澤　和弘（Ｈ02卒）
小笠原　守（Ｓ56卒）　中道　良子（Ｈ03卒）
戸来　公彦（Ｓ57卒）　音道　薫（Ｈ03卒）
野崎　雄寿（Ｓ60卒）　奥村　雄大（Ｈ29卒）

認知症対応型共同生活介護事業所
グループホーム クローバー
〒033-0051 三沢市古間木二丁目181-13
TEL.0176-58-5354　FAX.0176-51-0339
有限会社　堀企画
代表取締役　堀　光雄（昭和43年度 農業科卒）
〒033-0022 三沢市三沢字園沢219-427
TEL・FAX 0176-54-2507

青森県立三本木農業高等学校同窓会
三農同窓会報への協賛をいたします
三農同窓会 三沢支部
支部長　沖沢　一
（昭和38年度 農業土木科卒）

建設コンサルタント
株式会社 出雲
ZUMO
代表取締役　相田喜一郎
常務取締役　新堂政則
・建設コンサルタント登録　・測量業登録
・補償コンサルタント登録　・一級建築事務所登録
本　社　青森県三沢市南山１丁目129－７
〒033-0151　TEL：0176-53-3440　FAX：0176-53-8534

有限会社 谷島電気
常務取締役　谷島明裕
（平成12年度 農業機械科卒）
〒034-0052
青森県十和田市大字藤島字小山35-1　電話 0176-28-3148

青森県立三本木農業高等学校同窓会
三農同窓会報への協賛をいたします
三沢市職員三農同窓会
会員一同

P：植物科学科　L：動物科学科　M：農業機械科　E：環境土木科(3年､2年)・環境工学科(1年)　B：農業経済科　F：食品科学科　G：普通科